

## 人獣共通感染症とベクターサーベイランスシステムの 国際比較検討

タカハシ 高橋	ヒロシ 央*	カク 加來	コウキ 浩器 <sup>2*</sup>
タナカ 田中	タケシ 毅 <sup>2*</sup>	ウチダ 内田	ユキノリ 幸憲 <sup>3*</sup>

**目的** 我が国と関係が深い国々で、検疫所や保健環境衛生部局が実施している人獣共通感染症とベクターサーベイランスが、どの疾患に対して、どのように実施されているかを、日本の現状と比較する。

**方法** 我が国との交流が頻繁な10か国について、質問票の郵送とサーベイランス担当部局への直接訪問により、サーベイランスの対象疾患、対象ベクター、実施期間や範囲、実施態勢、情報還元の方法などについて調査した。

**結果** 8か国からの回答では、すべての国が人獣共通感染症とベクターサーベイランスを行っていた。対象疾患は国際保健規則に則ったもの、各国の疾病対策上より必要と考えられる感染症を優先的に実施していた。サーベイランスの実施態勢は、ベクター個体数の定期集計、期間限定のベクターからの病原体検索、問題発生時の集中的な病原体検索に分けられた。

**結論** 本調査を通じて、人獣共通感染症とベクターサーベイランスの重要性、および対象疾患や運用方法の詳細の違いが分かった。この結果を日本のより有用で効率的なサーベイランスシステム作りに利用していくべきである。

**Key words** : 人獣共通感染症, ベクターサーベイランス, 検疫, 疫学, バイオセーフティ, 国際保健規則

\* 国立感染症研究所感染症情報センター

<sup>2\*</sup> 国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース (FETP)

<sup>3\*</sup> 神戸検疫所

連絡先: 〒272-0033 千葉県市川市市川南3-13-17-806 高橋 央